トピックス

オイルサンド開発で日本に協力要請 確認原油一五〇〇億バーレルの鉱区

十二月五日に来日したペトロカナダ（カナダ石油公社）のW・H・ホッパー総裁は、河本通産大臣、橋本エネルギー庁長官、土光経団連会長、倉八石油開発公団総裁らと会談し、同公社がインペリアル・オイル社およびカナダ・シティ・サービス社と共同で進めているオイルサンド開発計画に日本側の協力を求めた。以下はこれを報じた「油業報知新聞」からの抜すい――。

「ペトロカナダ他二社は、カナダのアルバータ州アサバスカ地区で四、九〇〇平万キロメートルの鉱区を保有し、約一、五〇〇億バーレル（確認原油）のオイルサンドを開発中である。これは製品換算にすると約四〇〇億バーレル（約六三億キロリットル）の生産が可能であるが、カナダ側では、つぎのような条件で日本に参加を要請している。

①一九九二年には生産体制に入る②これらの生産体制に入るまでの投資金額のうち七千五百万ドルを日本側に出資してもらいたい③これによって同鉱区の二五％の鉱区権、生産原油権を日本は保有できる。

この結果、出資金額があまりにも多額であるため、日本側としてはナショナル・プロジェクトとして石油、財界などによる出資機関を組んで参加しようという動きがある。」

博覧会国際事務局の事務局長に 元大阪万博カナダ館代表のリード氏

◀リード氏

大阪万国博覧会および沖縄海洋博覧会のカナダ館政府代表を勤め、現在カナダ外務省公報文化局長の要職にあるパトリック・リード氏が、このほど博覧会国際事務局（BIE）の事務局長に選ばれた。同事務局はパリに本拠をおく三十七カ国から構成される国際機関で、あらゆる国際的博覧会の回数や内容を管理する。ヨーロッパ人以外の事務局長が誕生するのは、同事務局五十年の歴史の中で初めて。

デコボコ道や狭い通路も平気 カナダで開発された電動車椅子

段違いになった歩道によじのぼったり、狭い出入口を通過し、エスカレーターに乗り、座席も自由に上下あるいは回転できる新型の電動式車椅子が、カナダ運輸省の運輸研究開発センターによって開発された（写真）。

これは、モーターボートの船外始動モーターと自動車のワイパー変速機を起重装置に用い、それを自動車用バッテリーで動かすもので、四チャンネル・ステレオ・システムに用いられているものと同じバランス・スイッチで操縦する。座席は事務椅子用に開発された椅子を利用する。

この組合わせによってできた車椅子だと、幅五十七センチの出入口を通過したり、エスカレーターを使ったり、落差二〇・三二センチの縦断面でも運転できる。また、座席を二五・四センチ上下したり、左右に回転することもできる。しかも、分解して自動車のトランクに入れて運べる、という。

この車椅子のアイデアは、最初、トロント大学電気工学部の四年生が考えたもので、運輸研究開発センターがドウグ・ポール社に設計・製作させた。現在、試作品をテスト中で、実用化されると二千二、三百カナダ・ドルぐらいになる見込み。

原子力平和利用の保障措置で合意 カナダ、日本などの供給十五カ国

カナダ、日本、米国、ソ連を含む十五カ国は、一月十二日、ロンドンで開かれていた原子力供給国グループによる原子力平和利用先進国協議でセーフガード（原子力平和利用に関する保障措置）協定に調印した。同協定は核物質および設備の平和利用を保証しようというもので、ロイター通信によると、合意の内容は要旨次の通り。

一、輸入国は、買い入れた核物質や設備を、武器や平和的核爆発のための装置製造には使用されない、との保証を正式に規定しなければならない。

一、買い入れた物質や設備、そして買い入れ品と同じ設計により国内で作られた同種のものに対し、国際原子力機関は査察することを許される。

一、買い入れ品の他国への再輸出は、いかなるものについても、このガイドラインを守らなければならない。高度に慎重を要する設備については、まず最初の輸出国の許可を得なければならない。

一、輸入国は、盗難や破壊行為に対して有効な物理的防護をしなければならない。

一、ガイドライン違反の疑いが出た場合、輸出国側は禁輸措置の可能性について決定するため協議する。

一、輸出国は、他の輸出国が保障措置の問題を理由に設備の売り渡しを拒否したことを利用して、売り込みをしてはならない。

ランキン大使が講演

ランキン駐日カナダ大使は、二月二十七日午前十時から、「大学婦人の会」主催による講演会で、日加関係について講演する。場所は新宿区南元町の東医健保会館（電話三五三―四三一一）。

本紙中の意見や見解は、必ずしもカナダ政府またはカナダ大使館の考え方を表わすものではないことをお断わりします。転載の際は出典を明らかにして下さい。なお、ご意見やご希望は左記の住所にご連絡下さい。

東京都港区赤坂七丁目三番三八号
カナダ大使館広報部